

# 新潟市マンガ・アニメ情報館

## 新潟市マンガの家

### 平成 26 年度 指定管理業務報告書

- 1 入館状況
- 2 施設管理運営状況
- 3 実施企画展
- 4 施設間連携
- 5 広報活動

#### ■ 付属資料

- ①新潟市マンガ・アニメ情報館 アンケート集計
- ②新潟市マンガの家 アンケート集計

新潟市マンガ・アニメ情報館 新潟市マンガの家 指定管理者  
にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体  
代表法人 学校法人新潟総合学院

## 1. 入館状況

平成 26 年度入館者数：新潟市マンガ・アニメ情報館 110,707 人

新潟市マンガの家 33,331 人

2 館合計 144,038 人

(2 館合計目標 140,000 人に対し 103%)

マンガの家講座受講者数 1,135 人

新潟市マンガ・アニメ情報館（以下、情報館）と新潟市マンガの家（以下、家）はオープンより 2 年目の年度を迎え、運営、企画、広報について独自のノウハウを確立し熟成できた年度となった。入館数については初年度よりさらに関心をもって新聞などに取り上げられることもあったが、このような記事も「市民からの期待と励まし」と捉え、スタッフ一同真摯に業務にあたってきた。結果、上記欄にある通り両館合わせての目標 14 万人を超えることができた。一方、情報館と家の入館数の差は大きく開いており、展示の性格や場所などの差はあるが、より揃った数字が出せるよう、家の入場を増やすことが大きな課題として残る。家については今年度より講座実施方法や内容の見直し、マンガ閲覧コーナー「マンガの部屋」などのテコ入れをしたにも関わらず伸び悩んだ。今後は「マンガの部屋」の充実や企画展示、地元商店街やパートナーショップとの連携によるイベントなどを投入し存在の認知を強めていきたい。

情報館の企画展示においては「実行委員会形式」を主に導入し、パケット商品の展示会を誘致。ビックコンテンツの展示を可能にしながら、効率的な予算運用と広報面での強化を図ることができた。地元放送局に委員会に加わってもらうことで TV CM を活用でき入館数への効果も大きかった。ただし展示ごとには CM の放送本数や放送時間帯の違いにより入館数の上下に反映される結果もあり、組ませていただく TV 局とのコミュニケーションも重要な課題と考えている。大規模展示として夏休み開催の『まどか☆マジカ展』や冬休み開催の『ハイキュー!!展』では全国的にも話題になり、海外からの来客があるほど多くの入場者があったが、全会期に渡り混乱なく安全に運営できた。このような大規模展示はお客様の誘導、運営のオペレーションについても多くのノウハウを積むことにつながった。今年度築いた経験値をベースに、次年度もより広がりのある展示、イベント、サービスを尽くしていく。

## 2. 施設管理運営

年間を通し館内機器の保守、館内外の美化の維持に努めてきたが、開館2年目を迎え施設全体において経年による不具合も多くみられるようになった。都度点検保守を務めており、大きなトラブルにはなっていないケースが多いが、館員での対応ができない機種トラブルなどは担当業者の対応にタイムラグがあり、改善に時間がかかるケースもあった。家では誘客の目玉としてマンガ本閲覧コーナー『マンガの部屋』を新設、マンガ原稿制作・つけペン体験コーナーを1階に設置などし、魅力づくりに努めた。

## 3. 企画展

### 【新潟市マンガ・アニメ情報館】

#### ① 『青春少年小林まこと展』

開催期間：4月26日（土）～6月22日（日）

展示企画：新潟市マンガ・アニメ情報館

新潟市出身のマンガ家を取り上げるのは情報館としては初。情報館の自主企画展。小林まこと先生の自伝的名著『青春少年マガジン』をベースに先生の少年時代からデビュー、人気作家になるまでの初期作品を中心に展示した。中には『柔道部物語』の舞台をつくるべく、白根市柔道連盟様より柔道畳をお借りし展示スペースに置いた。また、『1, 2の三四郎』にちなみ、新潟プロレス様より「闘魂パンツ」や「マスク」なども作成していただき展示に活用。貴重なマンガ原画だけではなく先生の描いている舞台の世界観を広げる試みを展開した。

入場者は小林マンガを読んで育った40代～50代の方が中心。来場されるお客様にスタッフがよく話しかけられることが多く、小林先生の同級生の方や、描かれている舞台の近所に住んでいるなど親しみをもって展示をご覧になっていることが良くわかった。先生の出身校「新潟商業高校同窓会」様にも広報のご協力をいただいた。新潟ゆかりの作家さんたちをアピールする館の役割として年1回は地元作家さんを取り上げた展示をしていきたい。

【関連イベント】

- 毎週日曜日実施「マイケルを探せ」
- 期間中5月5日（祝）こどもの日を情報館オープン1周年を記念し全館無料入館とした。
- マンガの家「マンガのいっぽ」 小林まこと展関連講座  
会期中土日「筋肉」「表情」「動物」の描き方などを実施。

---

② 『続・青春少年小林まこと展』

開催期間：6月24日（火）～7月21日（月・祝）

展示企画：新潟市マンガ・アニメ情報館

4月から開催している『小林まこと展』の後期展的な意味の展示を開催した。前展に先生の最新作『長谷川伸シリーズ』、『1, 2の三四郎2』などの原画を加え会場レイアウトも変更し新鮮味を加えた。会期スタートに合わせ6月29日（日）には小林先生をお迎えし、新潟プロレス様とのコラボイベントを開催し会場を盛り上げた。

【開催イベント】

- 6月29日（日）小林まこと先生トーク&新潟プロレスエキシビジョンマッチ  
情報館前B P 2共用部にプロレスのリングを設置。新潟プロレス様によるエキシビジョンマッチと小林先生のトークショーを開催した。リング脇で試合を観戦した小林先生も試合の迫力に感心されていた様子。新潟プロレス重野代表と小林先生は「マンガとプロレスの共通点」で意気投合されトークも盛り上がり、会場を沸かせた。

---

③ 『劇場版 魔法少女まどか☆マギカ展』

開催期間：7月26日（土）～8月10日（日）

実行委員会による運営：

## 劇場版魔法少女まどか☆マギカ展新潟実行委員会

世界的な人気を誇る同作の「劇場版」を中心にした展示。主にキャラクターの等身大立像や場面を再現した部屋など音と光を交えた立体的な展示内容となった。東京、大阪に次いで全国3番目の開催となり、告知直後よりファンの間でもSNSなどを通し大きな話題になった。会場は情報館内企画室とミュージアムショップ、ミニシアターまでを展示スペースとして使用し、情報館前BP2共用部に展示会限グッズショップを置き、会場の形式としては当館最大規模となった。東京、大阪では2~3日ほどの開催期間だったが、新潟では16日間という同展としては異例のロングラン展示となったこともあり連日たくさんのお客様にご来場いただいた。特に初日は早朝から約500名の入場待ち列ができた。これは展示会グッズ販売での限定品を目指してきていることも影響している。お客様の誘導導線や安全の確保などビルボードプレイス様とも協議を重ね万全の態勢で臨んだ結果、大きな事故もなく安全に会期を終えることができた。実行委員会メンバーの新潟放送様には会期前より同作TVシリーズの放映と同展示会CMを展開していただいた。TVシリーズは新潟では初の放送ということもあり、開催への大きなインパクトになった。

### 【関連イベント】

#### ■ 『まどか☆マギカ』カフェ

会場：BPカフェ

同作のキャラクターを模したドリンク、アイスクリームなどを販売。購入者にはキャラクターの特典が付く。期間中たくさんのお客様が詰めかけ、ビルボードプレイス様より急きょ店内誘導係を増員するなどの対応もあるほどだった。

---

#### ④ 『宇宙戦艦ヤマト 2199 原画展』

開催期間：8月13日（水）～9月7日（日）

実行委員会による運営：

宇宙戦艦ヤマト 2199 原画展新潟実行委員会

情報館のオープン企画展として取り上げた同作。1年前の展示会時はTVシリーズが始まるのと同様だったため「設定資料」的な内容が多かった。その後同作TVシリーズの人気も高く、劇場版の制作が決定するなど大きな広がりを見せてきたこともあり、今回は実際に使用されているアニメ原画を一堂に集めた原画展としてピックアップした。展示原画・設定資料は約200点。加えて1/100スケールのヤマトも展示。8月、9月のアンケートによる来館者年齢は4分の3以上を10代～20代が占めており、40年の歴史を持つ同作が「2199」シリーズで新たなファン層を獲得していることがわかる。

#### 【関連イベント】

■ 8月30日（日）麻宮騎亜先生サイン会

会場：情報館前B P 2 共用部

同作原画やレイアウトを手掛ける麻宮先生のサイン会を実施した。当日は熱心なファン約30名が参加。ファンの方と会話を交わしながら丁寧にサインするにこやかな先生の笑顔が印象的だった。

---

#### ⑤ 絵師100人展 04

開催期間：9月13日（土）～10月14日（火）

昨年度秋に開催した同展01～03に続く第4弾。人気イラストレーターやマンガ家などの「現代の絵師」100人が毎回決まったテーマに合わせて描いた作品を一堂に展示する展覧会。近年ライトノベル、カードゲームなどの人気上がるのと共にその素材になるキャラクター主体イラストを提供する絵師の存在も大きく認知され人気を博している。今年度の開催ではそういった存在の認知を上げるべく、TVCMを制作、放送したところ大変大きな反響をいただいた。用意していた新潟版の図録も売り切れてしまい追加をお願いするほどだった。イラストレーター人気の上昇と共に同展の認知も上がり人気コンテンツになりつつあることがわかる。今後も情報館の定番展示会として継続していきたい。また、サイン会においていただいた新潟出身のマンガ家、佃煮のりお先生の『ひめゴト』アニメ原画展を家で行うなどし両館回遊策としても活用させていただいた。

### 【関連イベント】

- 9月28日（日）Gユウスケ先生・佃煮のりお先生サイン会  
会場：情報館ミニシアター  
図録ご購入の方対象、各先生50名限定  
事前申し込み制としたが、希望者も定員数を超える数で集まったが、先生のご厚意で希望者全員に参加していただくことができた。
  
- 9月13日（土）～10月14日（火）  
マンガの家 佃煮のりお『ひめゴト』展（内容後述）  
絵師展入場チケット半券の提示で「佃煮のりおポストカード」をプレゼント  
配布実績350セット
  
- 9月13日（土）、14日（日）  
マンガの家 マンガ基礎講座「マンガのいっぽ」  
「かわいい女の子を描こう」  
絵師100人展04のテーマである「かわいい」を表現する描き方を学ぶ。
  
- 情報館ピックアップコーナー「絵師 from 新潟」  
絵師展会期中、情報館ピックアップコーナーにて新潟で絵師を目指して学んでいる方、新潟で活動している作家の方の作品を7点展示紹介した。

---

### ⑥ 『攻殻機動隊大原画展』

開催会期：10月18日（土）～11月30日（日）

実行委員会による運営：

攻殻機動隊大原画展新潟実行委員会

世界的な人気を誇る同作の制作25周年を記念した原画展を開催した。原作者士郎正宗氏のマンガ原稿やアニメ制作の企画段階の貴重な資料から各シリーズで使用された原画、セル画、背景、設定資料、撮影に使われていたカメラまで、非常に歴史的に価値のある展示物が並び大変見ごたえのある展示となった。「がたふえす」の開催日と開幕が揃っており、がたふえすと共催として同作SACシリーズ監督の神山健治氏をお迎えしサイン会とトークショーを「がたふえす」ステージ上で行った。ステージには100人以上のお客様がつけかけ神山健次監督のお話に熱く耳を傾けていた。サイン会も限定数以上の希望があったが、監督のご厚意ですべての方をこなしていただいた。

## 【関連イベント】

### ■「がたふえす」とのコラボイベント

- ①10月18日（土） 神山健治監督サイン会&トークショー
- ②10月18日（土）、19日（日）マンガの家にてオリジナルポストカード配布

---

### ⑦ 『ハイキュー!!アニメ原画展 冬の新潟遠征』

開催期間：前期展 12月6日（土）～15年1月12日（月・祝）

後期展 1月17日（土）～3月1日（日）

展示企画：新潟市マンガ・アニメ情報館

実行委員会による運営：

ハイキュー!!アニメ原画展新潟実行委員会

集英社週刊少年ジャンプにて連載中でアニメ放映もされ、現在業界をリードする大人気作となっている同作のアニメ原画展は全国初の開催。同作のアニメ制作はプロダクション I.G様。同スタジオが手掛けた作品の当館展示会『ヤマト2199展』『キックハート展』同様、今回も細かく連携し、当館独自の内容を作り上げた。アニメ『ハイキュー!!』の1期全26話を前期と後期に分け、その貴重な原画を可能な限り展示するコンセプトで設計。情報館の持つ展示パネルをすべて使用し約4000点を展示した。全国的にも注目度が高く、特にファン層はSNSによる情報に過敏に反応する世代でもあることから積極的にSNSを活用した。また新潟への行き方などの情報がSNS上で交わされるなど大きな広がりを見せ、県外はもちろん、海外からのお客様もみえるほど注目を浴びる展示会となった。ただし開催が冬の時期とあり、一般的に雪による悪天候の日が多く来場の足に影響があったことが推測させる。開幕日は多くの入場を待つお客様が詰めかける想定をし準備していたが、当日は記録的な大雪に見舞われ客足が伸びなかった。出掛けにくい季節にコンテンツの強い力を持って集客する意味はあるが、逆にもっと集客できたものを逃しているという考え方もあり、今後の検討材料としていきたい。入場チケットもキャラクターごとに数種類作成。さらに販売協力店舗のアニメイト様と文信堂書店様専用のチケット柄を用意し、全9種類を扱ったこともファンの間で大きな関心を呼んだ。それぞれの専用柄を手に入れるために各販売店で購入する方も多く、販売協力店舗様にも喜んでいただけた。同展は閉幕した後も「他に巡回はしないのか?」「やってくれてありがとう」などのコメントが寄せられている。新潟でしかできない、情報館でしかできない展示を今後も模索し、館の個性の

確立に反映させていきたい。

【関連イベント】

- マンガの家：入場券半券の提示でオリジナルポストカード進呈

---

⑧ 『スタジオジブリ 思い出のマーニー監督 米林宏昌原画展』

開催期間：3月7日（土）～5月10日（日）

実行委員会による運営：

米林宏昌原画展新潟実行委員会

昨夏公開のスタジオジブリ作品『思い出のマーニー』を監督された米林宏昌氏の原画展。公開時に合わせて発売された氏の画集『汚れなき悪戯』に収録されている原画を中心に展示。『思い出のマーニー』の設定資料から絵コンテ、原画から氏のプライベートで描きためた美女画などを約100点を公開した。同スタジオ作品の展示ということもあり館を訪れるお客様の年齢層も若いカップルから年配の方まで非常に幅の広い層に渡っている。情報の公開と前売券の発売を約2か月前から行い、TVCM、広報など、事前のプロモーション活動も強化できた。

【関連イベント】

- 4月11日（土）米林宏昌監督サイン会

1回目 11:00～ 2回目 14:00～ 各回 25名限定

会場：ミニシアター

当日、原画集やDVD、BDをお買い上げになった方を対象朝早くからサイン会整理券を求めてお客様が並び始め、開館前に定員数を超えるほどの盛況ぶりだった。監督のご厚意で合計70名までをご対応いただいた。

- 4月18日（日）スタジオジブリによるギャラリートーク

14:00～ 展示会場にて

解説：スタジオジブリ エグゼクティブプロデューサー 田中千義様

会場には約 30 名ほどの希望者が集まり大変盛況だった。米林監督のお人柄や次回作の話、スタジオの今後なども語られ大変貴重なお話が伺えた。お客様からもたくさん質問があり和気あいあいとした雰囲気でした。

=====

## 【マンガの家】

### ① 『小林まこと複製原画展』

開催期間：6月24日（火）～7月21日（月）

情報館での『小林まこと展』にちなみ、『へば!!ハローちゃん』と「小林マンガに登場する新潟の風景」を展示。情報館と家の両館を利用された方には「特製ポストカード」を進呈する連携キャンペーンも実施した。

### ② 『なかよし展』

開催期間：7月24日（日）～9月2日（火）

創刊 60 周年を迎える同誌の連載でアニメ化もされている『さばげぶっ』や『出口ゼロ』などの最新作のカラー原画や複製原画を展示。その他、近年のふろくやアニメ化作品のポスターも展示した。

### ③ 『佃煮のりお ぷち・ひめゴト展』

開催期間：9月13日（土）～10月14日（火）

情報館での『絵師 100 人展 04』にちなみ、同展にも参加している新潟出身のマンガ家、佃煮のりお先生の『ひめゴト』からマンガ原稿とアニメ原画を展示した。情報館と家の両館を利用された方には「特製ポストカード」を進呈する連携キャンペーンを実施した。

### ④ 『古町 5 番町萌えキャラプロジェクト キャラクター展示』

開催期間：10月23日（木）～2月24日（火）

展示企画：新潟市マンガの家

古町5番町商店街組合様と日本アニメ・マンガ専門学校のコラボ企画として毎年「がたふえす」で披露されている「萌えキャラプロジェクト」を紹介。17体のキャラクターパネルが2階を埋め尽くした。商店街の各店、各商店のイメージを萌えキャラにして販売促進に使用したこのプロジェクトはマンガ・アニメジャンルを使用した産学連携の実例として新聞、TVにも取り上げられた。

⑤ 『第17回 にいがたマンガ大賞作品展』

開催期間：2月26日（木）～4月7日（火）

展示企画：新潟市 にいがたマンガ大賞実行委員会

今年度のにいがたマンガ大賞受賞作品を毎週各部門ごとに分けて展示した。合わせて毎週日曜日には受賞者を対象にした2次審査委員による個別の作品講評会も実施。

直接作品の評価を聞けるとあって毎週多くの希望者があった。同展は例年表彰式と一緒に別会場にて二日間のみ開催だったため、このような長期となる展示は初となる。

#### 4. 施設間連携

情報館・家の連携については「3. 企画展示」の中で報告した通り実施し、両館の利用促進、街の回遊策として活用した。以下にタイトルのみ記録。

情報館	家
小林まこと展	関連講座「マンガのいっぽ」計13回
絵師100人展	出展絵師 佃煮のりお「ぷちひめゴト」展
絵師100人展	関連講座「マンガのいっぽ」計2回
絵師100人展	半券提示にてポストカード進呈
ハイキュー!!展	半券提示にてポストカード進呈

今年度は新たな施設間連携として「新潟市新津美術館」との連携を多く実施できた。

① 出前美術館

新津美術館主催の出張型美術授業（アウトリーチ）として、情報館・家の「マンガ講座」を年間9回行った。内容は「誰でも描ける！簡単マンガキャラクターの描き方」とし、デッサン法をマンガ的な解釈で伝え実践させるもの。顔の基本、顔の向きの変え方、人体の基本、手、足の描き方、ポーズの描き方を約1時間～2時間で展開する授業。対象は小学校4年～中学校とし、新津美術館より各学校へ募集をかけていただいた。冒頭

には情報館と家のPRを入れさせていただき館の広報活動としても活用させていただくと共に、マンガ家、アニメーターのお仕事を伝えることで職業啓発な内容も含んだ授業とした。このジャンルの次代の担い手やファンを生んでいく意味のある取り組みだと感じており、今後も引き続き取り組んでいく。

今年度は小新中学校、山ノ下小学校、県立東新潟特別支援学校など全8校9学年、延べ430名の参加があった。

② 新津美術館「きかんしゃトーマス展」関連イベント「トーマスを描こう」

実施日時：11月16日（日）11:00～12:00 新津美術館にて

小学生以上を対象にしたトーマスたちの顔、機関車を描く方法を教える。新津美術館に講師を派遣した。参加16名。

## 5. 広報

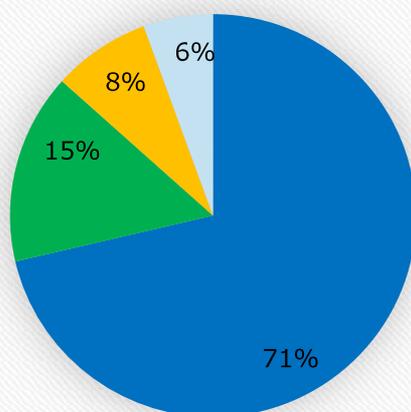
情報館・家の広報について、日常的なものとしては各ホームページ（HP）とツイッターを中心に活用し展開した。また、今年度より新潟市のアニメ・マンガPRサイト「M a n g A n i m e ナビ」に各HPの情報が即座に新着情報として表示されるよう連携させ伝搬力をアップさせた。ツイッターに関してはこのジャンルを好む層に向けて大変有効な伝達手段であるため、その反応をつぶさに分析しながら、昼夜問わず効果的なタイミングで展開した。また、実行委員会制の中で地元放送局との連携も強化され、各企画展ごとのTVCMを多く打つことができた。いわゆるSNS世代だけではなく、より幅広い層に認知を広げていくためにはTVの活用は必須と考えており、今後も積極的に展開していきたい。

## 新潟市マンガ・アニメ情報館データ表

※アンケートの集計結果をもとに算出（2014年4/1～2015年3/31 有効データ数 310名）

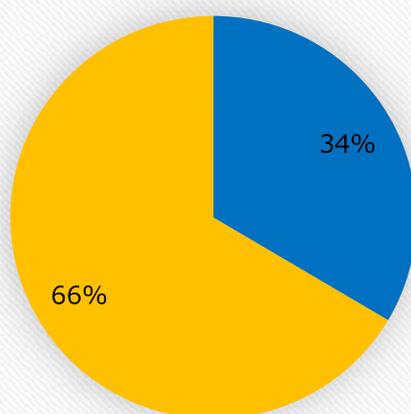
このデータ表は性別、年齢層の把握を図るためにアンケートを元に集計したものであり、実際の来館者の構成比率とは異なる部分があると思います。

### ① 来館回数



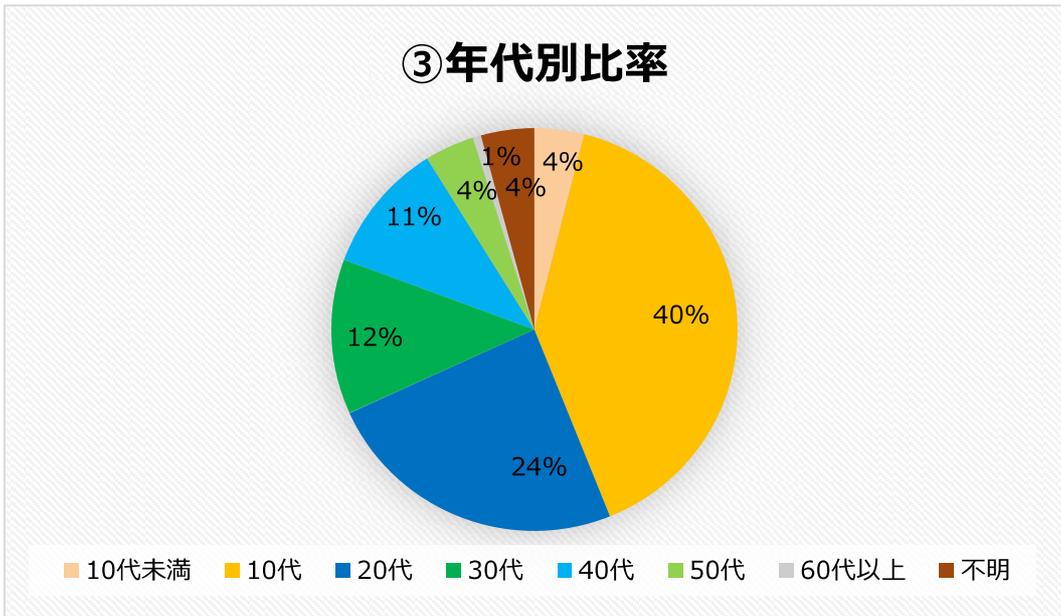
■ 初めて ■ 2回目 ■ 3回目 ■ 4回以上

### ② 来館者性別構成比率

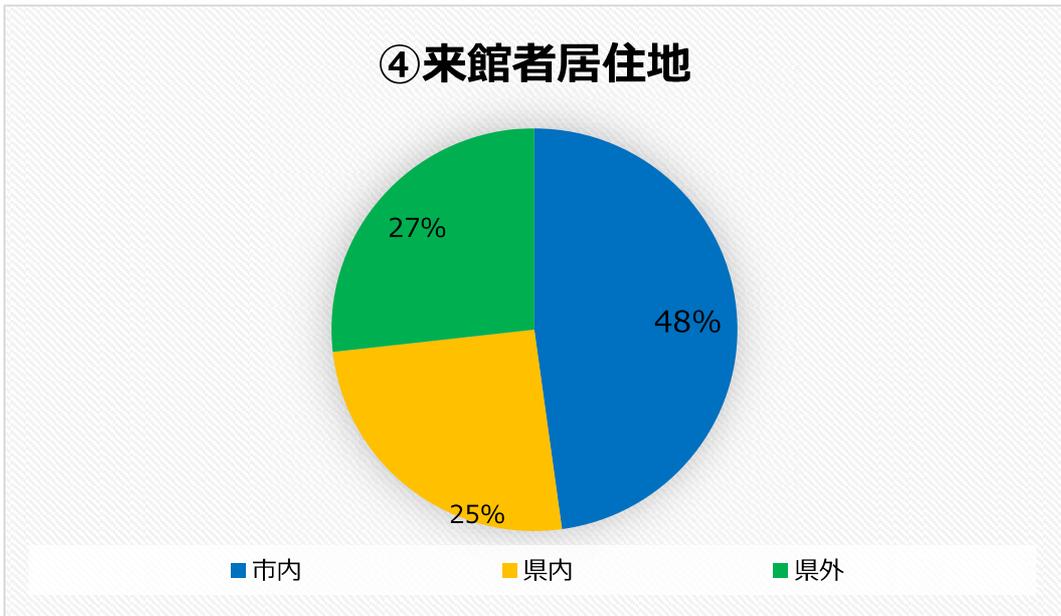


■ 男性 ■ 女性

### ③年代別比率



### ④来館者居住地

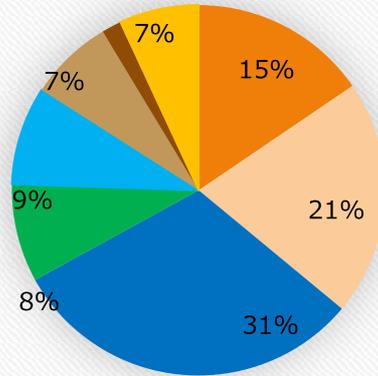


詳細表

北区	5名	東区	47名
中央区	31名	江南区	11名
秋葉区	5名	南区	7名
西区	28名	西蒲区	9名

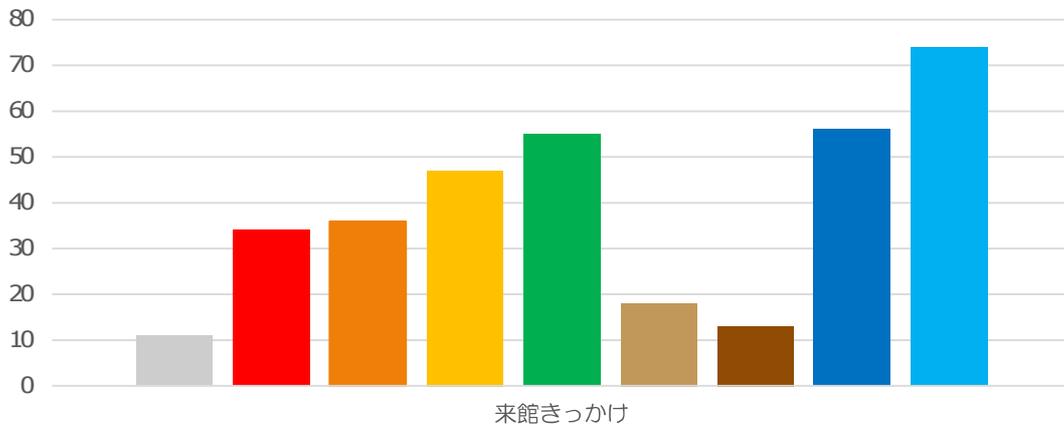
※市内143名 新潟市以外の県内76名 県外80名

### ⑤ 交通手段



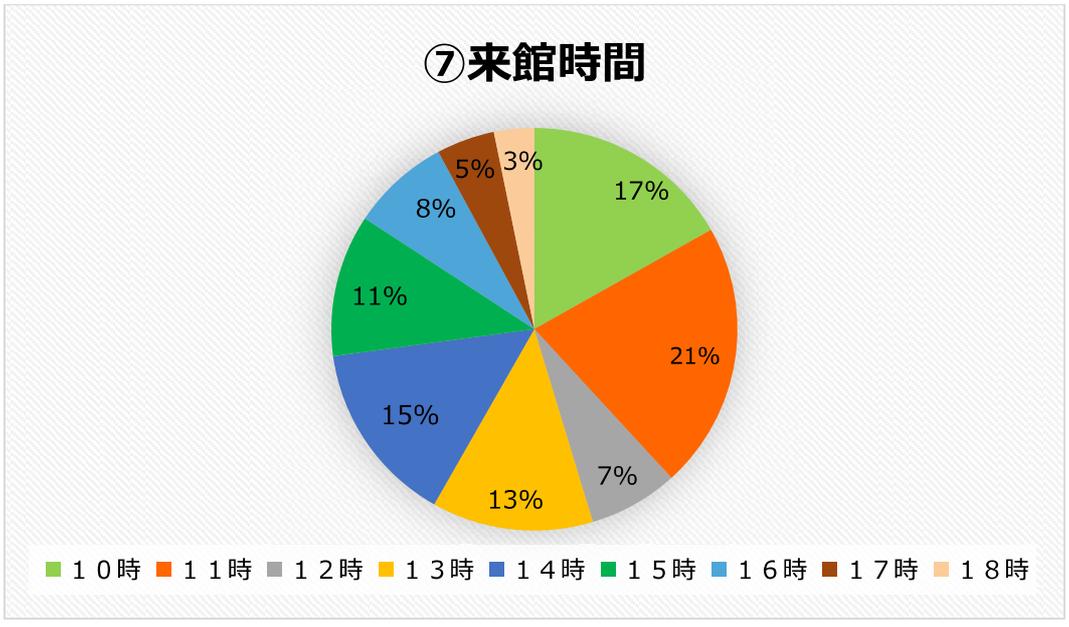
- 自家用車
- 路線バス
- 徒歩
- 自転車
- タクシー
- 観光循環バス
- 貸切・観光バス
- その他

### ⑥ 来館しようと思ったきっかけ



- 市報新潟
- 公式HP
- テレビ・ラジオ
- w e b 情報
- 友人・知人
- 新聞
- 雑誌
- チラシ・ポスター
- その他

### ⑦ 来館時間

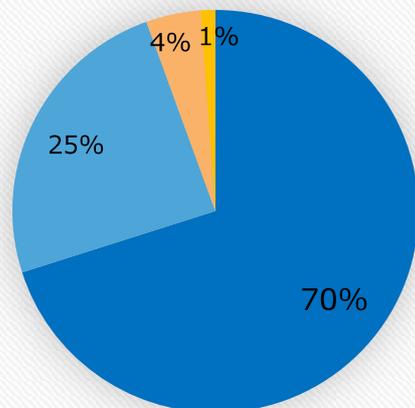


### ■ 満足度調査

- (1) 今回（本日）のご利用について、全体として満足できましたか？
- (2) スタッフの対応は、どうでしたか？
- (3) 施設の設備は、清潔に保たれていましたか？
- (4) 安全対策はどうでしたか？

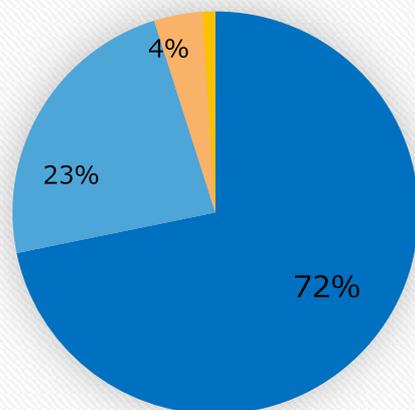
	満 足	やや満足	やや不満	不 満
(1)	178	62	11	3
(2)	206	67	13	3
(3)	236	40	3	2
(4)	229	35	4	3

### (1) 全体満足度



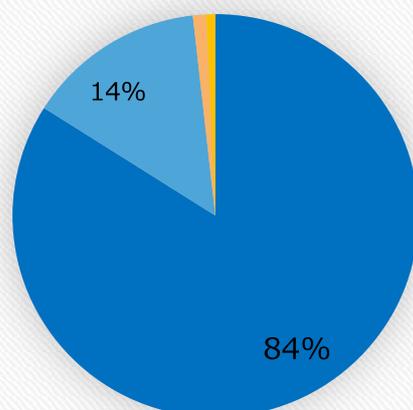
■ 満足    ■ やや満足    ■ やや不満    ■ 不満

### (2) スタッフ対応



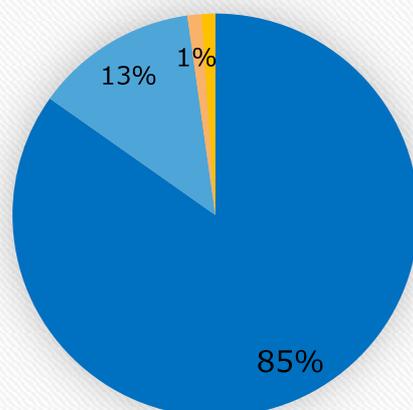
■ 満足    ■ やや満足    ■ やや不満    ■ 不満

### (3) 施設の衛生面について



■ 満足      ■ やや満足      ■ やや不満      ■ 不満

### (4) 安全対策について



■ 満足      ■ やや満足      ■ やや不満      ■ 不満

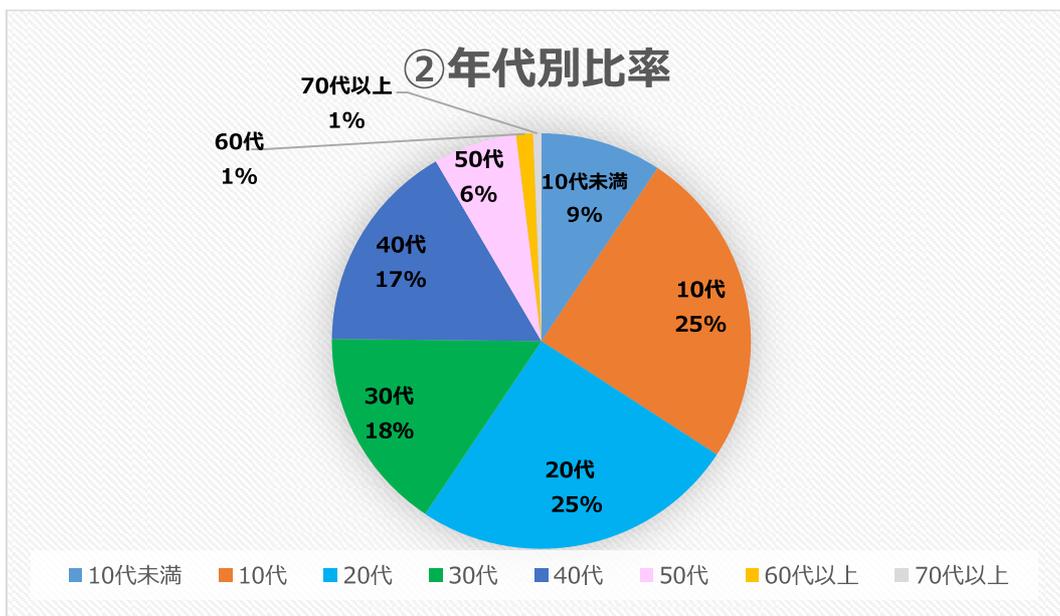
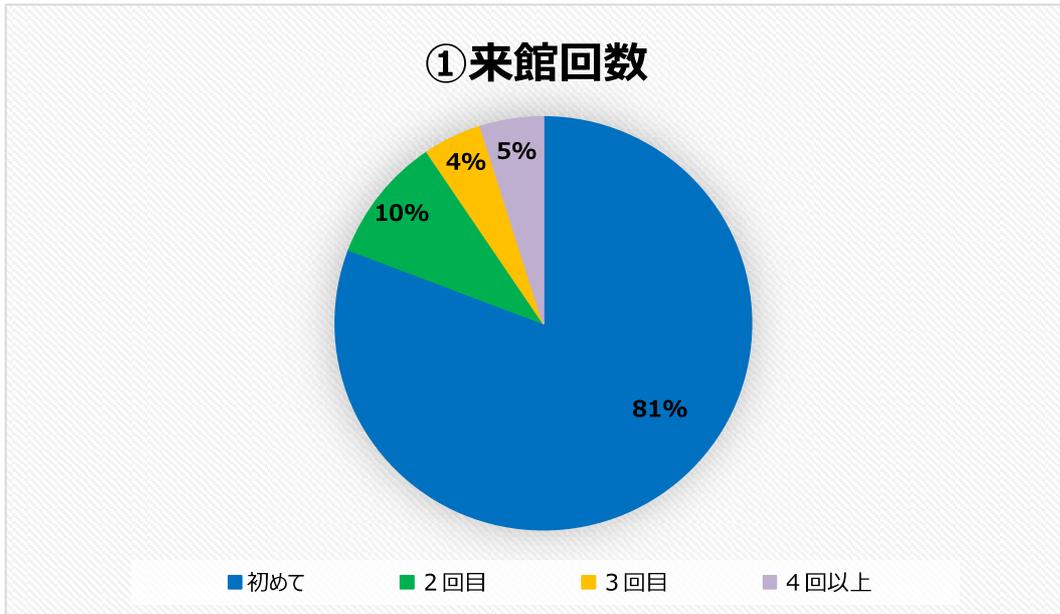
※スタッフ対応、施設の満足度に対する不満は監視員の方に対する不満であるとアンケートに記載があり、対応策として監視員のマニュアルを作成し、監視業務・お客様への対応の研修を事前ミーティング・事後ミーティングで徹底しております。

## 新潟市マンガの家データ表

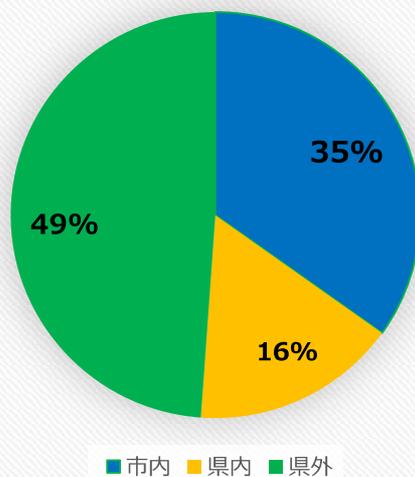
※アンケートの集計結果をもとに算出（2014年4月～2015年3月 有効データ数 313名）

■新潟市マンガの家では開館以降アンケート調査を実施しております。

このデータ表はアンケートを元に集計したものであり、実際の来館者の構成比率とは異なる部分があります。



### ③ 来館者居住地

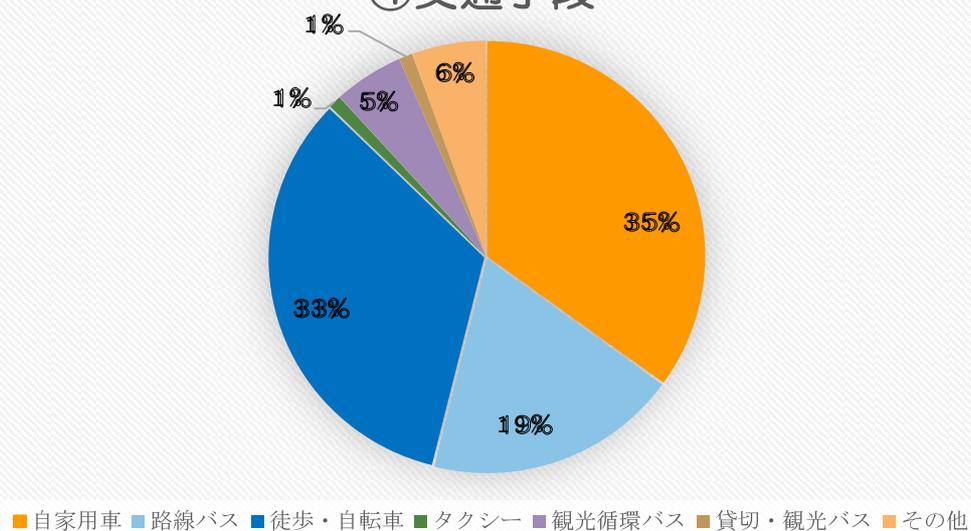


詳細表

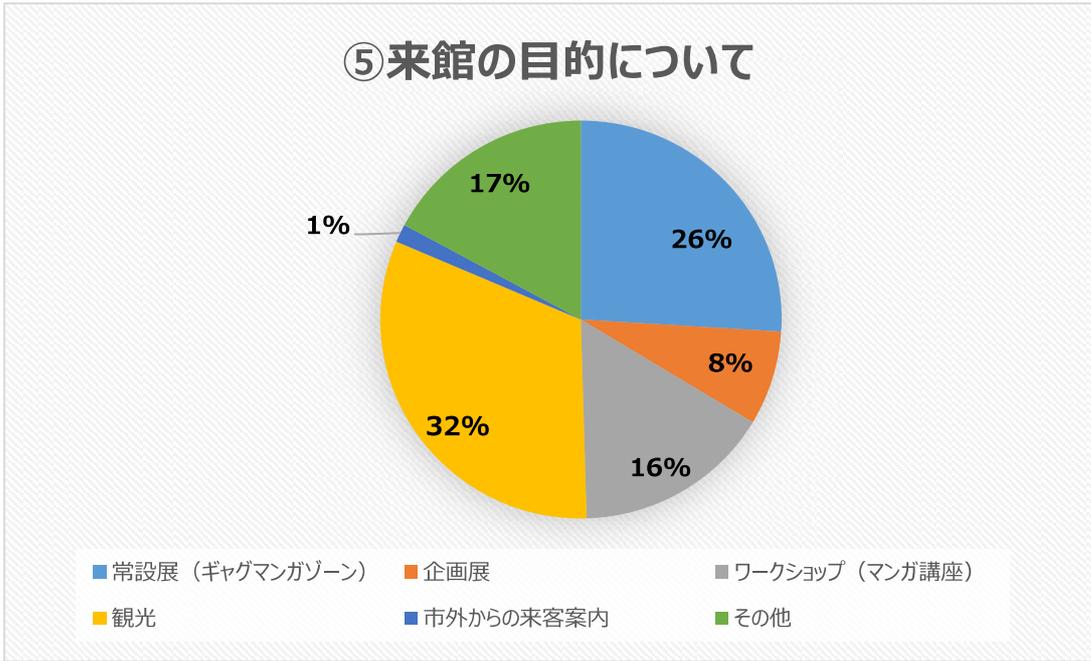
北区	7名	東区	10名
中央区	46名	江南区	6名
秋葉区	6名	南区	4名
西区	24名	西蒲区	3名
新潟市内	1名		

※県内50名 県外(海外)150名

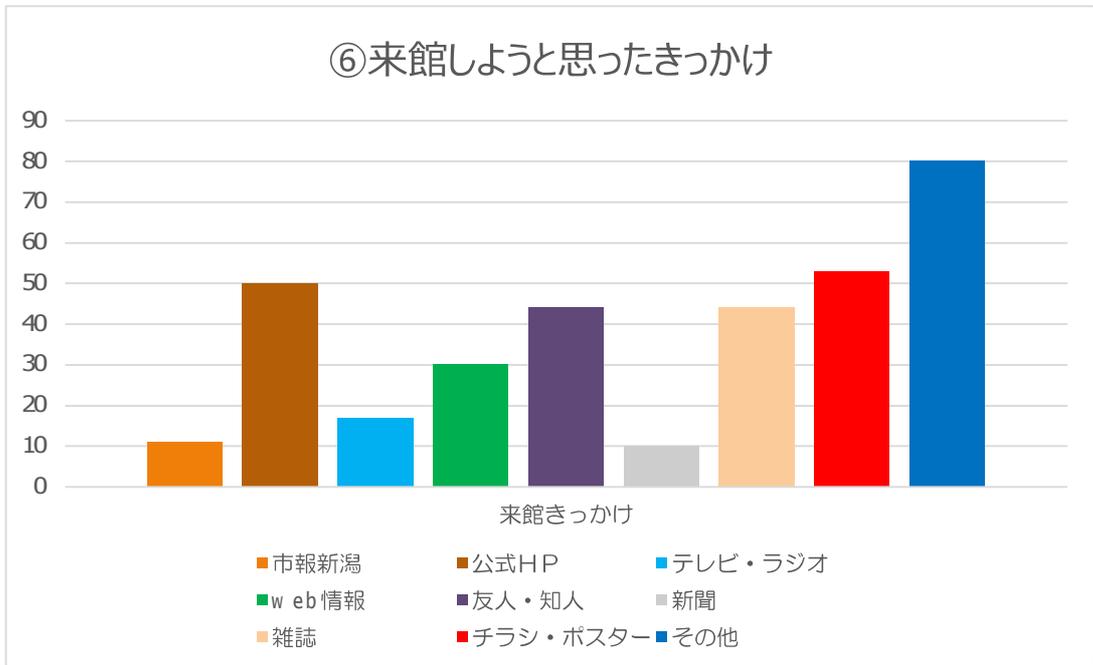
### ④ 交通手段



### ⑤ 来館の目的について



### ⑥ 来館しようと思ったきっかけ



### ■満足度調査

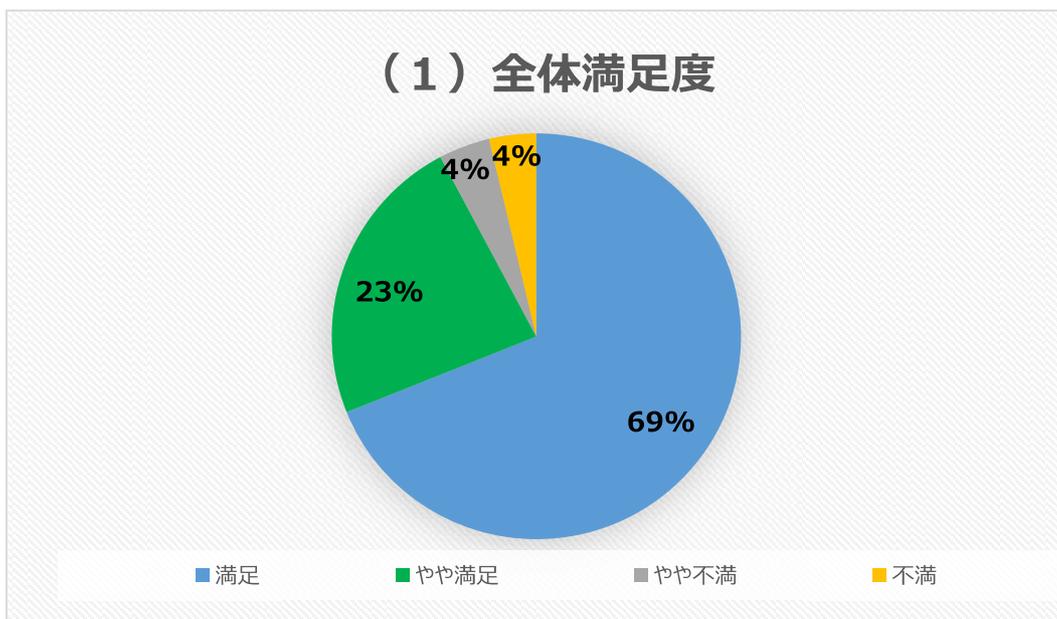
(1) 今回（本日）のご利用について、全体として満足できましたか？

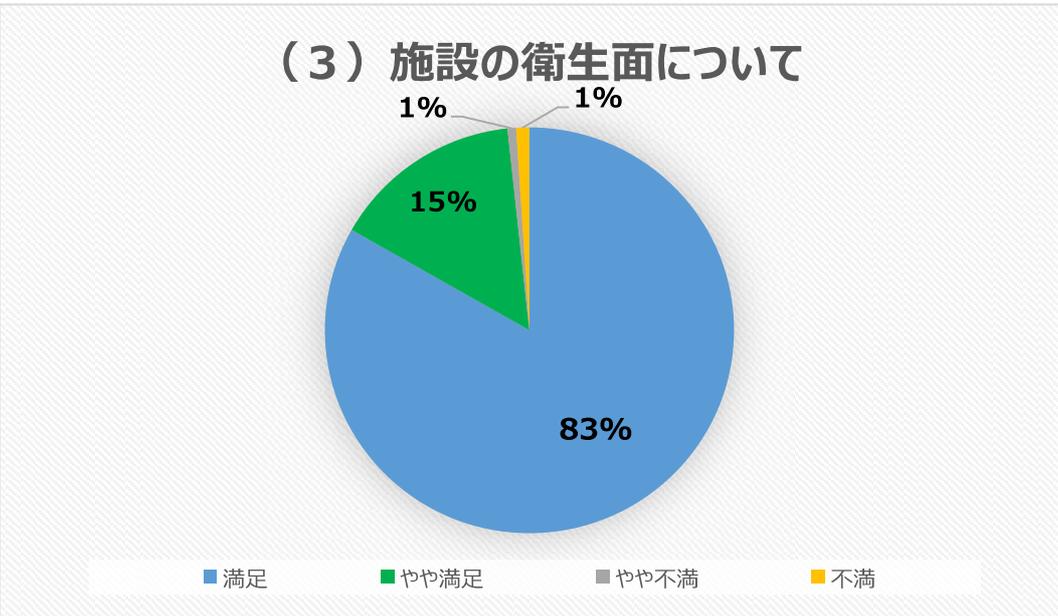
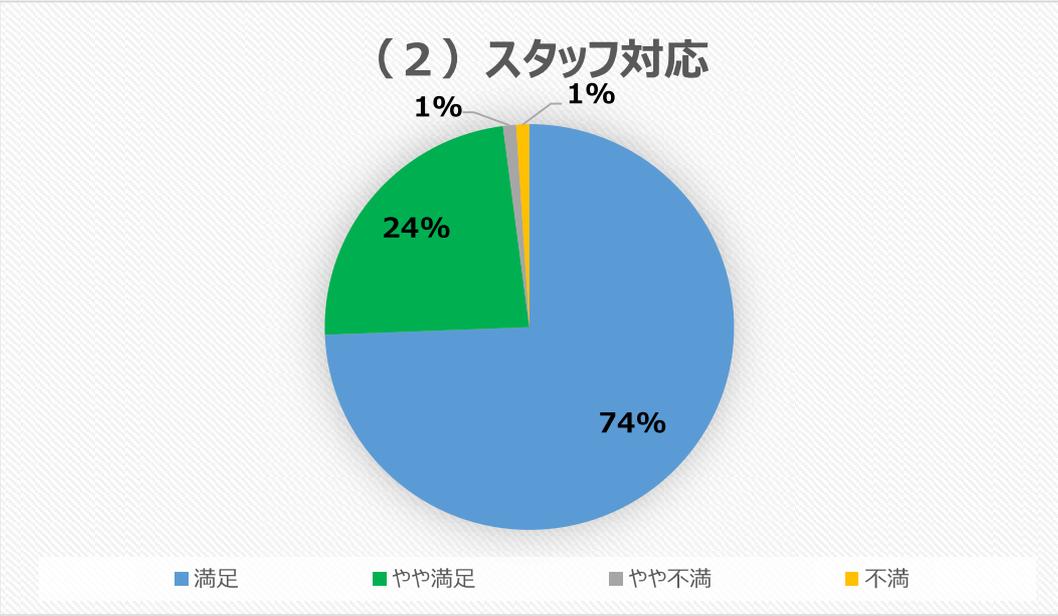
(2) スタッフの対応は、どうでしたか？

(3) 施設の設定は、清潔に保たれていましたか？

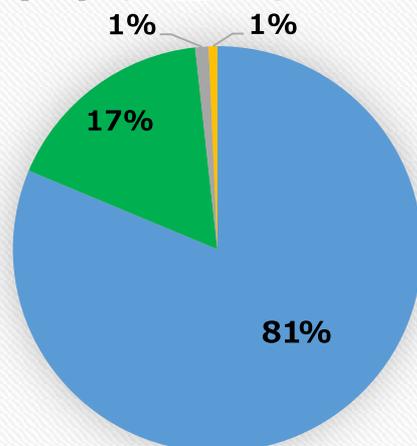
(4) 安全対策はどうでしたか？

	満 足	やや満足	やや不満	不 満
(1)	204	69	12	3
(2)	215	68	3	3
(3)	243	44	2	3
(4)	235	49	3	2





#### (4) 安全対策について



■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満